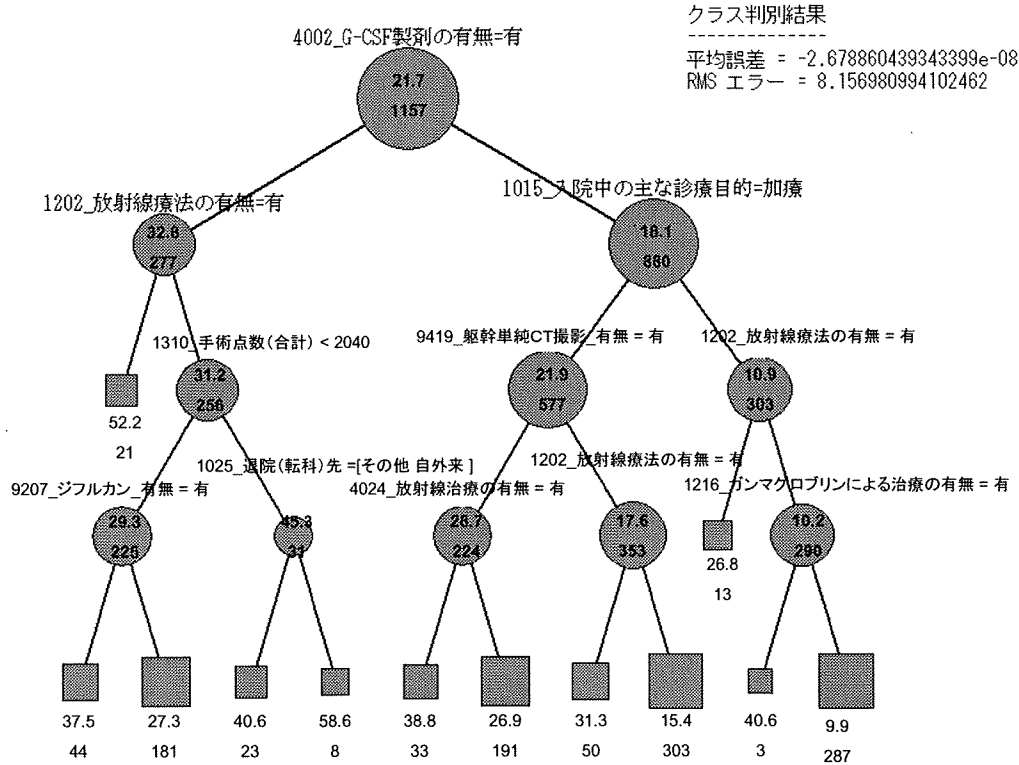


DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 在院日数 回帰木分析



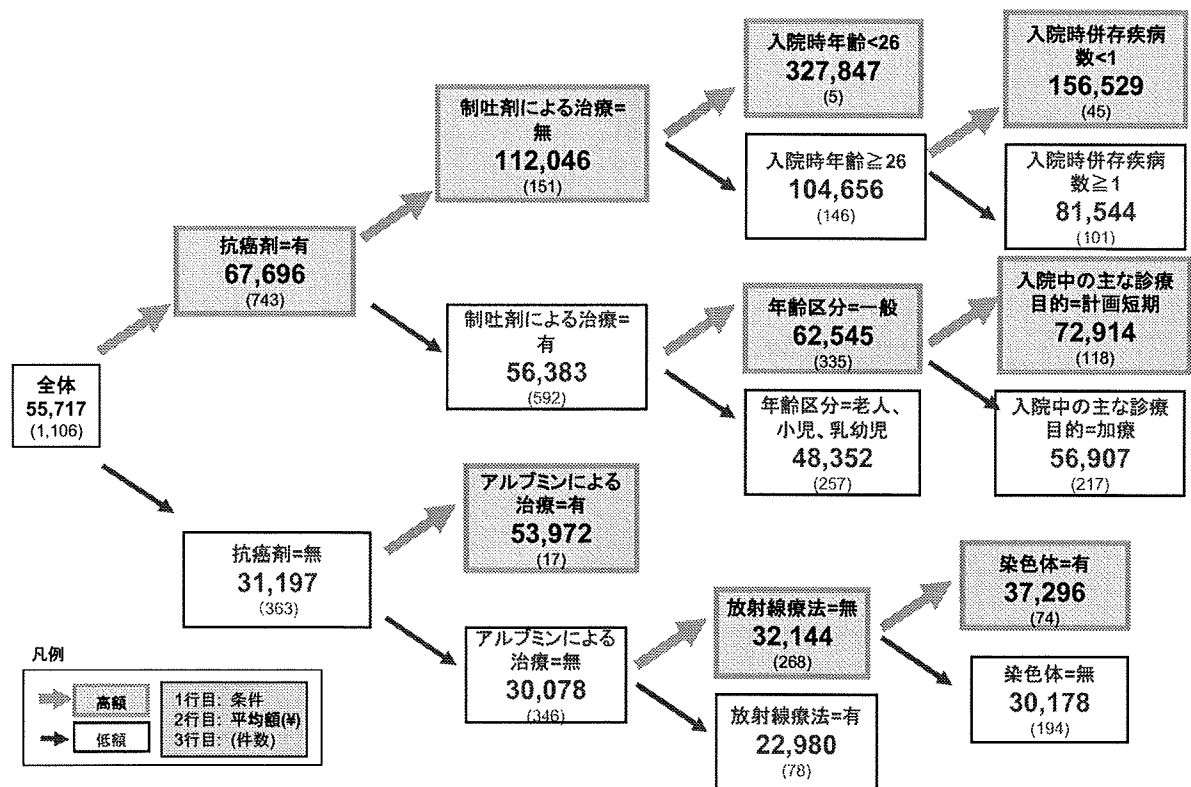
DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 在院日数 回帰木分析

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント...	枝取り...
True	1	21.703	1157 (100%)	
○ 4002_G-CSF製剤の有無 = 有	1.1	32.877...	277 (24%)	
○ 1202_放射線療法の有無 = 有	1.1.1	52.238	21 (2%)	
○ 1202_放射線療法の有無 ≠ 有	1.1.2	31.289...	256 (22%)	
○ 1310_手術点数 (合計) < 2,040	1.1.2.1	29.355...	225 (19%)	
○ 9207_ジフルカン_有無 = 有	1.1.2.1.1	37.5	44 (4%)	
○ 9207_ジフルカン_有無 ≠ 有	1.1.2.1.2	27.375	181 (16%)	
○ 1310_手術点数 (合計) ≥ 2,040	1.1.2.2	45.322...	31 (3%)	
○ ((1025_退院 (転科) 先 = その他) or (1025_退院 (転科) 先 = 自外来))	1.1.2.2.1	40.685...	23 (2%)	
○ ((1025_退院 (転科) 先 ≠ その他) and (1025_退院 (転科) 先 ≠ 自外来))	1.1.2.2.2	58.625	8 (1%)	
○ 4002_G-CSF製剤の有無 ≠ 有	1.2	18.186...	880 (76%)	
○ 1015_入院中の主な診療目的 = 加療	1.2.1	21.965...	577 (50%)	
○ 9419_躯幹単純CT撮影_有無 = 有	1.2.1.1	28.705...	224 (19%)	
○ 4024_放射線治療の有無 = 有	1.2.1.1.1	38.818...	33 (3%)	
○ 4024_放射線治療の有無 ≠ 有	1.2.1.1.2	26.958...	191 (17%)	
○ 9419_躯幹単純CT撮影_有無 ≠ 有	1.2.1.2	17.688...	353 (31%)	
○ 1202_放射線療法の有無 = 有	1.2.1.2.1	31.319...	50 (4%)	
○ 1202_放射線療法の有無 ≠ 有	1.2.1.2.2	15.438...	303 (26%)	
○ 1015_入院中の主な診療目的 ≠ 加療	1.2.2	10.990...	303 (26%)	
○ 1202_放射線療法の有無 = 有	1.2.2.1	26.846...	13 (1%)	
○ 1202_放射線療法の有無 ≠ 有	1.2.2.2	10.279...	290 (25%)	
○ 1216_ガンマグロブリンによる治療の有無 = 有	1.2.2.2.1	40.666...	3 (0%)	
○ 1216_ガンマグロブリンによる治療の有無 ≠ 有	1.2.2.2.2	9.9616...	287 (25%)	

クラスラベル

9.962 14.828 19.694 24.561 29.427 34.293 39.16 44.026 48.892 53.759 58.625

DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 出来高換算額/日 回帰木分析



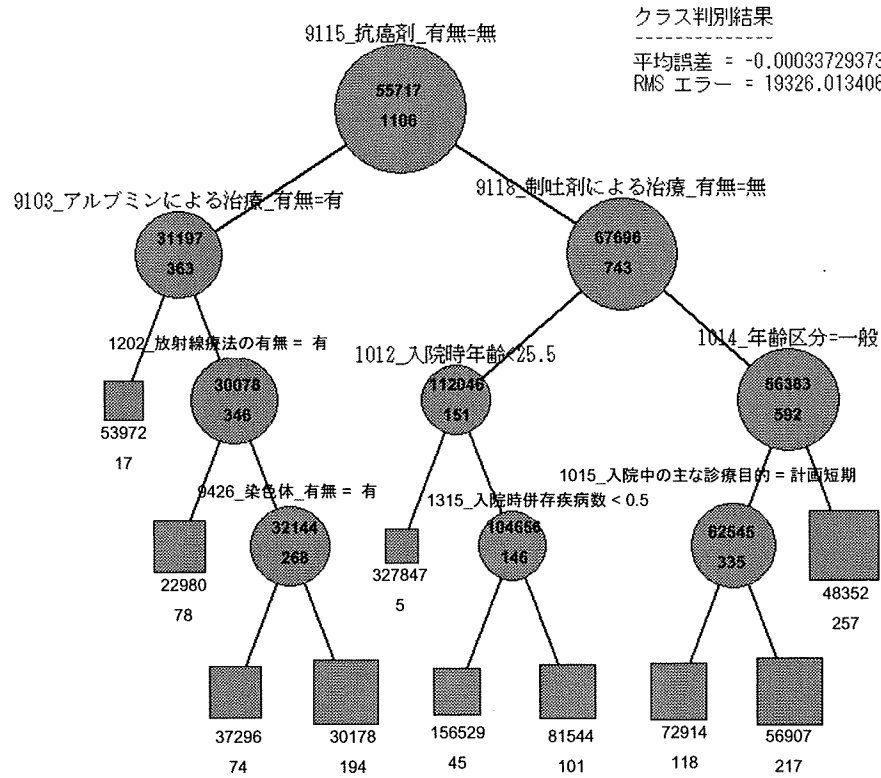
DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 抗癌剤=有
- 制吐剤による治療=無
- アルブミンによる治療=有
- 入院時年齢<26
- 年齢区分=一般
- 放射線療法=無
- 入院時併存疾病数<1
- 入院中の主な診療目的=計画短期
- 染色体=有

DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 出来高換算額/日 回帰木分析



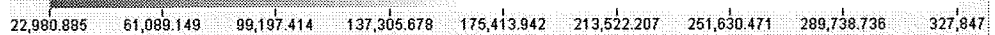
クラス判別結果

平均誤差 = -0.0003372937386980109
RMS エラー = 19326.01340664093

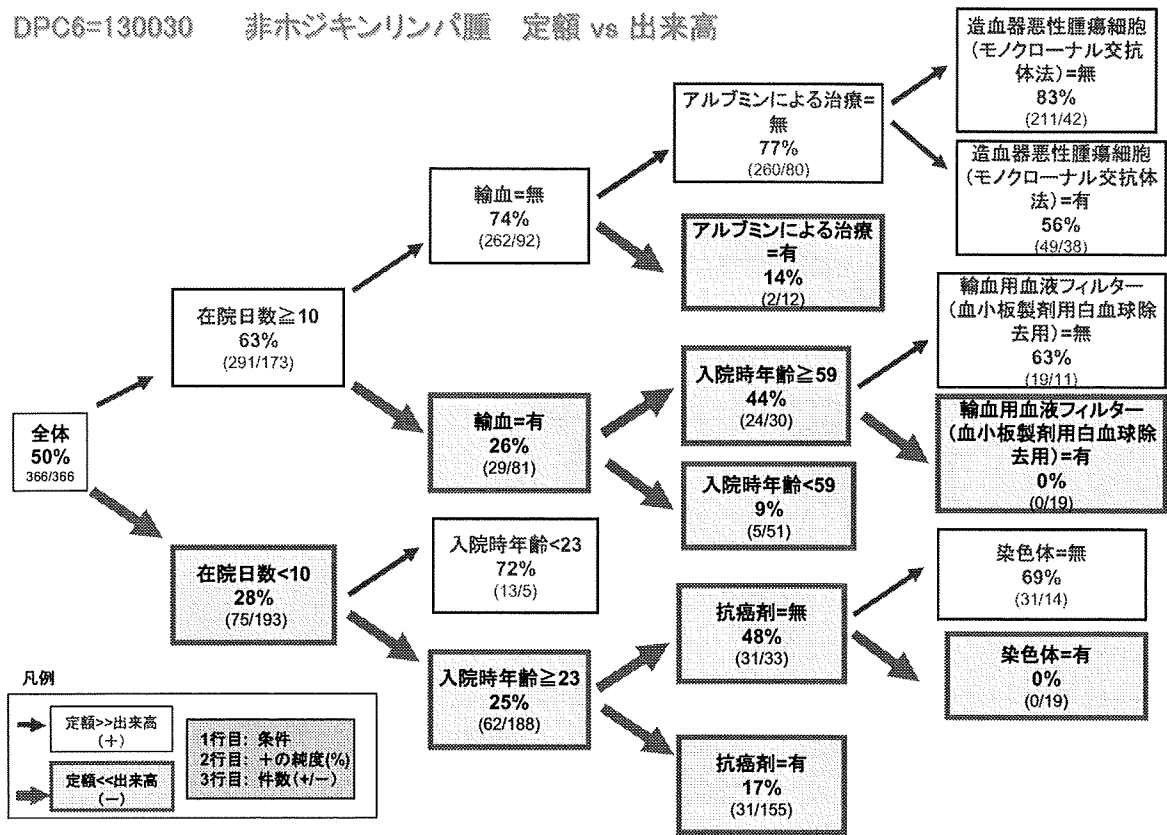
DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 出来高換算額/日 回帰木分析

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント	枝取り...
● True	1	55717.08	1106 (100%)	☐
○ ● 9115_抗癌剤_有無=無	1.1	31197.48...	363 (33%)	☐
○ ● 9103_アルブミンによる治療_有無=有	1.1.1	53972.96...	17 (2%)	☐
○ ● 9103_アルブミンによる治療_有無≠有	1.1.2	30078.46...	346 (31%)	☐
○ ● 1202_放射線療法の有無=有	1.1.2.1	22980.88...	78 (7%)	☐
○ ● 1202_放射線療法の有無≠有	1.1.2.2	32144.17...	268 (24%)	☐
○ ● 9426_染色体_有無=有	1.1.2.2.1	37296.28...	74 (7%)	☐
○ ● 9426_染色体_有無≠有	1.1.2.2.2	30178.93...	194 (18%)	☐
○ ● 9115_抗癌剤_有無≠無	1.2	67696.38...	743 (67%)	☐
○ ● 9118_制吐剤による治療_有無=無	1.2.1	112046.9...	151 (14%)	☐
○ ○ 1012_入院時年齢 < 25.5	1.2.1.1	327847.0	5 (0%)	☐
○ ● 1012_入院時年齢 ≥ 25.5	1.2.1.2	104656.5...	146 (13%)	☐
○ ○ 1315_入院時併存疾病数 < 0.5	1.2.1.2.1	156529.9...	45 (4%)	☐
○ ● 1315_入院時併存疾病数 ≥ 0.5	1.2.1.2.2	81544.63...	101 (9%)	☐
○ ● 9118_制吐剤による治療_有無≠無	1.2.2	56383.98...	592 (44%)	☐
○ ● 1014_年齢区分=一般	1.2.2.1	62545.44...	335 (30%)	☐
○ ● 1015_入院中の主な診療目的=計画短期	1.2.2.1.1	72914.25...	118 (11%)	☐
○ ● 1015_入院中の主な診療目的≠計画短期	1.2.2.1.2	56907.10...	217 (20%)	☐
○ ● 1014_年齢区分≠一般	1.2.2.2	48352.50...	257 (23%)	☐

クラス・ラベル



DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 定額 vs 出来高



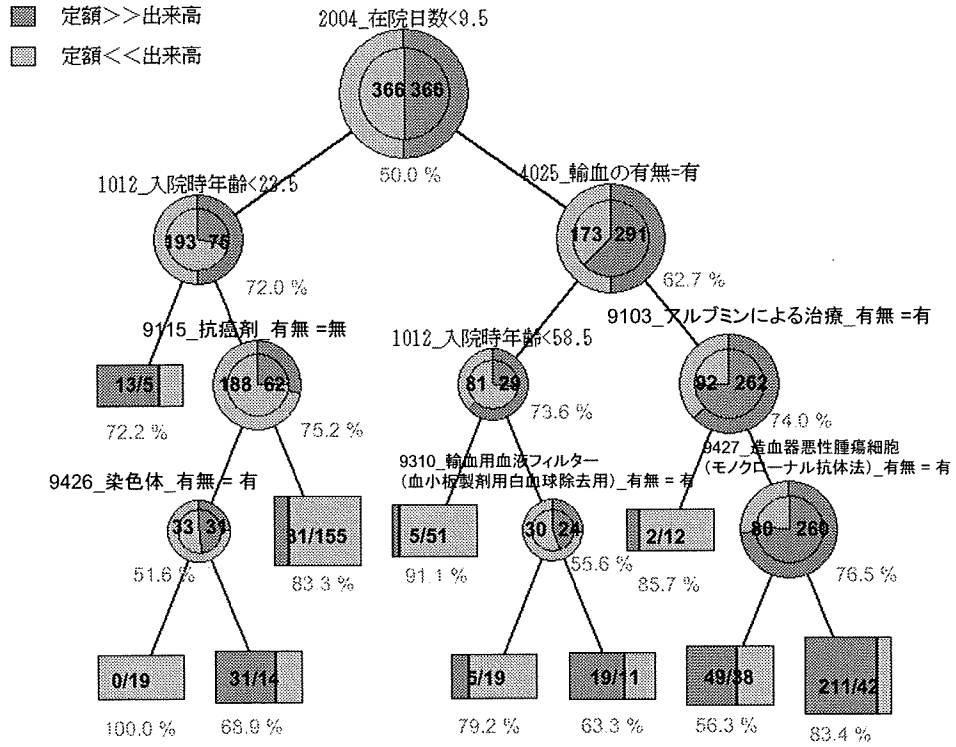
DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 在院日数 < 10
- 輸血=有
- 入院時年齢 ≥ 23
- アルブミンによる治療=有
- 入院時年齢 < 59
- 抗癌剤=有
- 輸血用血液フィルター (血小板製剤用白血球除去用)=有
- 染色体=有

DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 定額 vs 出来高



DPC6=130030 非ホジキンリンパ腫 定額 vs 出来高

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント	純度	枝取り...
True	1	定額 >> 出来高	366 (100%)	50.0%	
2004_在院日数 < 9.5	1.1	定額 << 出来高	78 (37%)	72.0%	
1012_入院時年齢 < 22.5	1.1.1	定額 >> 出来高	18 (2%)	72.2%	
1012_入院時年齢 >= 22.5	1.1.2	定額 << 出来高	60 (34%)	75.2%	
9115_抗癌剤_有無 = 無	1.1.2.1	定額 << 出来高	19 (3%)	51.6%	
9426_染色体_有無 = 有	1.1.2.1.1	定額 << 出来高	19 (3%)	100.0%	
9426_染色体_有無 ≠ 有	1.1.2.1.2	定額 >> 出来高	45 (6%)	68.9%	
9115_抗癌剤_有無 ≠ 無	1.1.2.2	定額 << 出来高	186 (25%)	83.3%	
2004_在院日数 >= 9.5	1.2	定額 >> 出来高	107 (55%)	62.7%	
4025_輸血の有無 = 有	1.2.1	定額 << 出来高	110 (15%)	73.6%	
1012_入院時年齢 < 58.5	1.2.1.1	定額 << 出来高	56 (8%)	91.1%	
1012_入院時年齢 >= 58.5	1.2.1.2	定額 << 出来高	54 (7%)	55.6%	
9310_輸血用血液フィルター (血小板製剤用白血球除去用)_有無 = 有	1.2.1.2.1	定額 << 出来高	24 (3%)	79.2%	
9310_輸血用血液フィルター (血小板製剤用白血球除去用)_有無 ≠ 有	1.2.1.2.2	定額 >> 出来高	30 (4%)	63.3%	
4025_輸血の有無 ≠ 有	1.2.2	定額 >> 出来高	257 (48%)	74.0%	
9103_アルブミンによる治療_有無 = 有	1.2.2.1	定額 << 出来高	14 (2%)	85.7%	
9103_アルブミンによる治療_有無 ≠ 有	1.2.2.2	定額 >> 出来高	87 (46%)	76.5%	
9427_造血器悪性腫瘍細胞 (モノクローナル抗体法)_有無 = 有	1.2.2.2.1	定額 >> 出来高	87 (12%)	56.3%	
9427_造血器悪性腫瘍細胞 (モノクローナル抗体法)_有無 ≠ 有	1.2.2.2.2	定額 >> 出来高	73 (35%)	83.4%	

クラス・ラベル

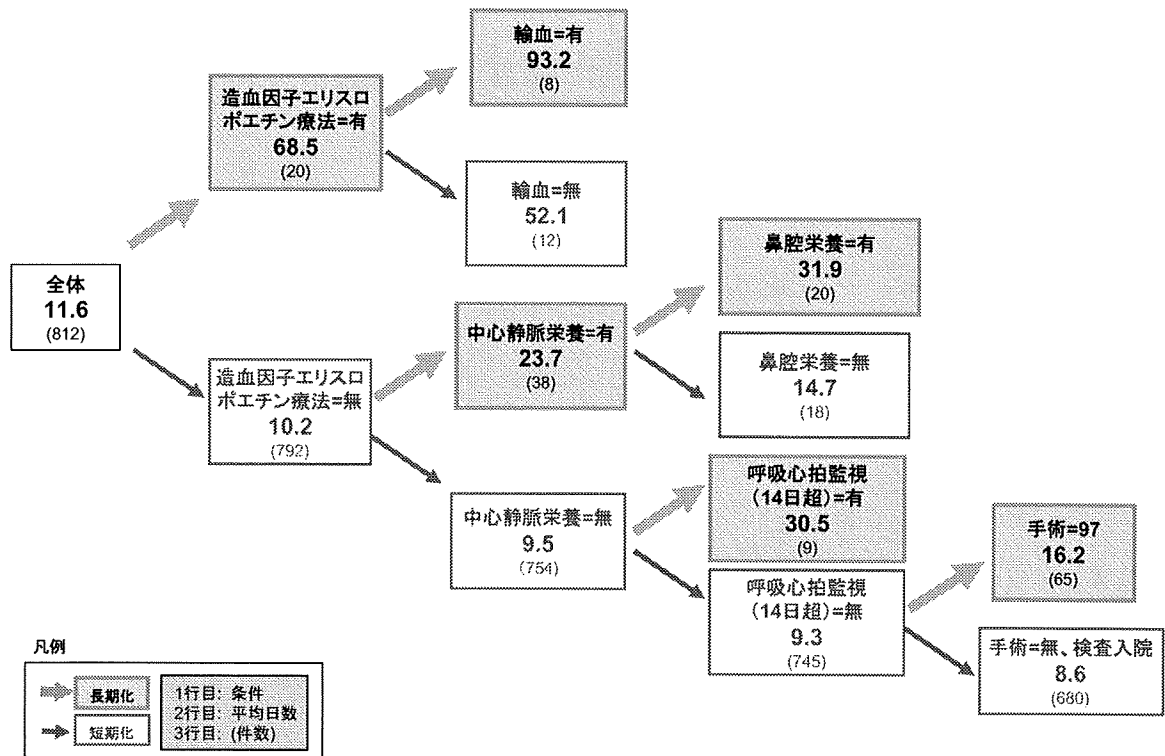
■ 定額 >> 出来高 □ 定額 << 出来高

DPC6=140030 周産期に発生した新生児の影響

手術
97:手術有
99:手術無

使用説明変数

9101_アルブミンによる治療_有無	9401_T-M(1臓器)_有無
9102_その他_有無	9402_アルブミン非結合型ビリルビン_有無
9103_プロテアーゼ阻害剤による治療_有無	9403_経皮的動脈血酸素飽和度_有無
9104_強心剤(その他)_有無	9404_呼吸心拍監視(14日超)_有無
9105_造血因子エリスロポエチン療法_有無	9405_呼吸心拍監視(3時間超)(7日以内)_有無
9106_肺サーファクタント_有無	9406_呼吸心拍監視(7日超14日以内)_有無
9107_免疫グロブリンなどの血液製剤_有無	9407_新生児仮死蘇生術(仮死第1度)_有無
	9408_新生児特定集中治療室管理料_有無
9201_クラフォラン_有無	9409_人工呼吸_有無
9202_セフトタックス_有無	9410_人工呼吸(5時間超)_有無
9203_ソリタ_有無	9411_中心静脈注射_有無
9204_ネオフィリン_有無	9412_中心静脈注射用カテーテル挿入_有無
9205_ピクシリン_有無	9413_聴性誘発_有無
9206_フルマリン_有無	9414_超音波(UCG)(断層撮影法とMモード法)_有無
9207_マスキュラックス_有無	9415_超音波(UCG以外)(断層撮影法とMモード法)_有無
9208_ラボナール_有無	9416_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無
9209_大塚生食注_有無	9417_帝王切開術(緊急帝王切開)_有無
9210_硫酸アミカシン_有無	9418_頭部単純CT撮影_有無
	9419_頭部単純MRI撮影_有無
9301_中心静脈用カテーテル(極細型)_有無	9420_鼻腔栄養_有無
	9421_閉鎖循環式全身麻酔_有無
	9422_麻酔管理料(閉鎖循環式全身麻酔)_有無



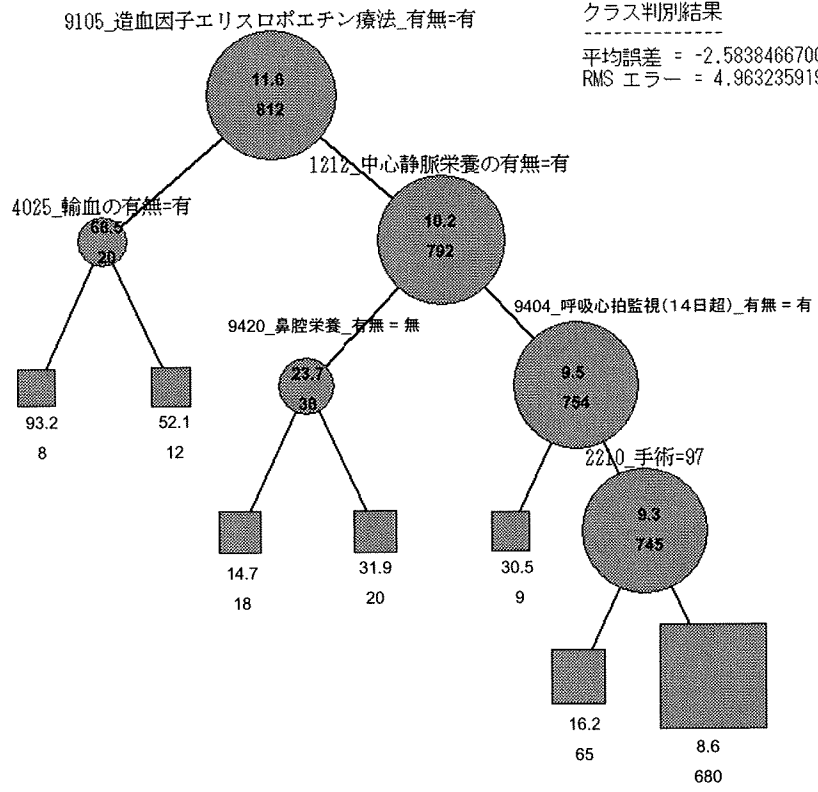
在院日数回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 造血因子エリスロポエチン療法=有
- 輸血=有
- 中心静脈栄養=有
- 鼻腔栄養=有
- 呼吸心拍監視(14日超)=有
- 手術 =97 (*)

(*)手術
97:手術有
99:手術無

DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 在院日数 回帰木分析



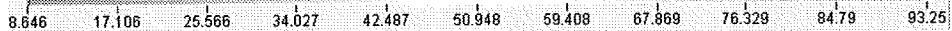
クラス判別結果

平均誤差 = -2.583846670066195e-08
RMS エラー = 4.963235919539033

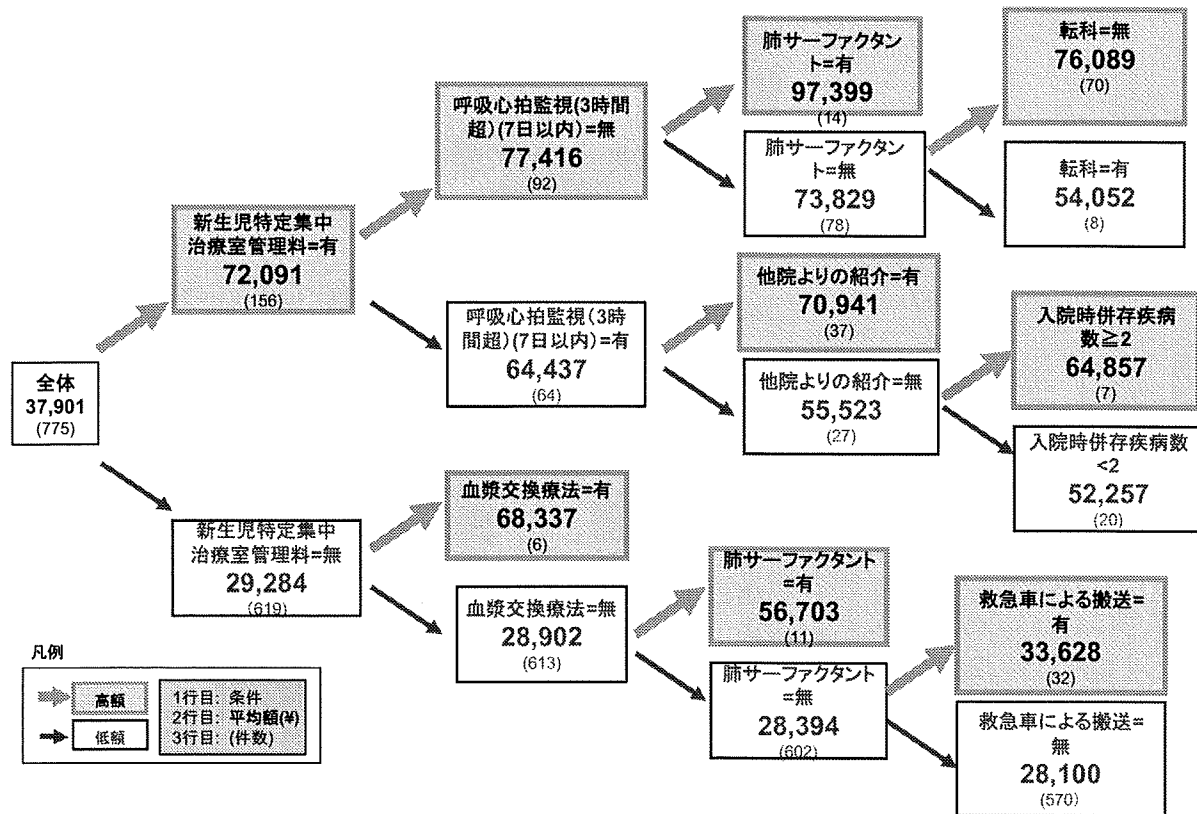
DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 在院日数 回帰木分析

ツリー	ノード ID	スコア	レコード・カウント	枝取り...
True	1	11.686	812 (100%)	└
○ 9105_造血因子エリスロポエチン療法_有無=有	1.1	68.599...	20 (2%)	└
○ 4025_輸血の有無=有	1.1.1	93.25	8 (1%)	└
○ 4025_輸血の有無≠有	1.1.2	52.166...	12 (1%)	└
○ 9105_造血因子エリスロポエチン療法_有無≠有	1.2	10.248...	792 (93%)	└
○ 1212_中心静脈栄養の有無=有	1.2.1	23.789...	38 (5%)	└
○ 9420_鼻腔栄養_有無=無	1.2.1.1	14.722...	18 (2%)	└
○ 9420_鼻腔栄養_有無≠無	1.2.1.2	31.950...	20 (2%)	└
○ 1212_中心静脈栄養の有無≠有	1.2.2	9.5663...	754 (93%)	└
○ 9404_呼吸心拍監視(14日超)_有無=有	1.2.2.1	30.555...	9 (1%)	└
○ 9404_呼吸心拍監視(14日超)_有無≠有	1.2.2.2	9.3127...	745 (92%)	└
○ 2210_手術=97	1.2.2.2.1	16.292...	65 (8%)	└
○ 2210_手術≠97	1.2.2.2.2	8.6455...	680 (84%)	└

クラス・ラベル



DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC8=140030 周産期に発生した新生児の障害 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

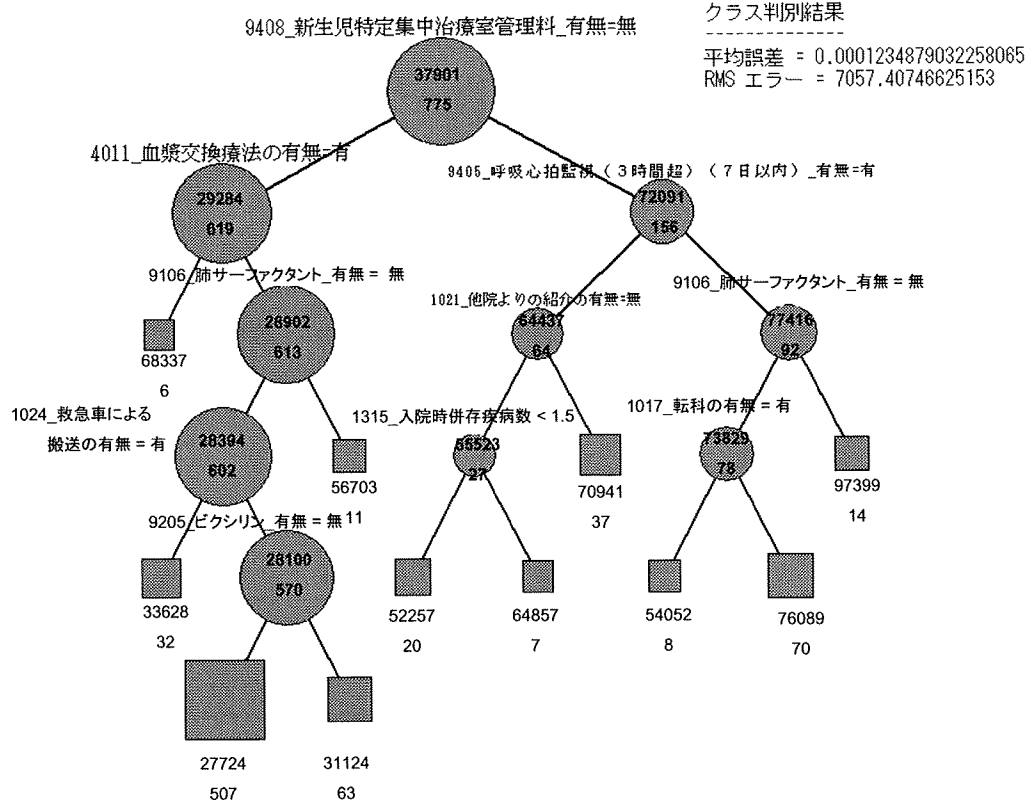
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 新生児特定集中治療室管理料=有
- 呼吸心拍監視(3時間超)(7日以内)=無
- 血漿交換療法=有
- 肺サーファクタント=有
- 他院よりの紹介=有
- 転科=無
- 入院時併存疾病数 ≥ 2
- 救急車による搬送=有

その他の要因:

- ビクシリン=有

DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 出来高換算額/日 回帰木分析



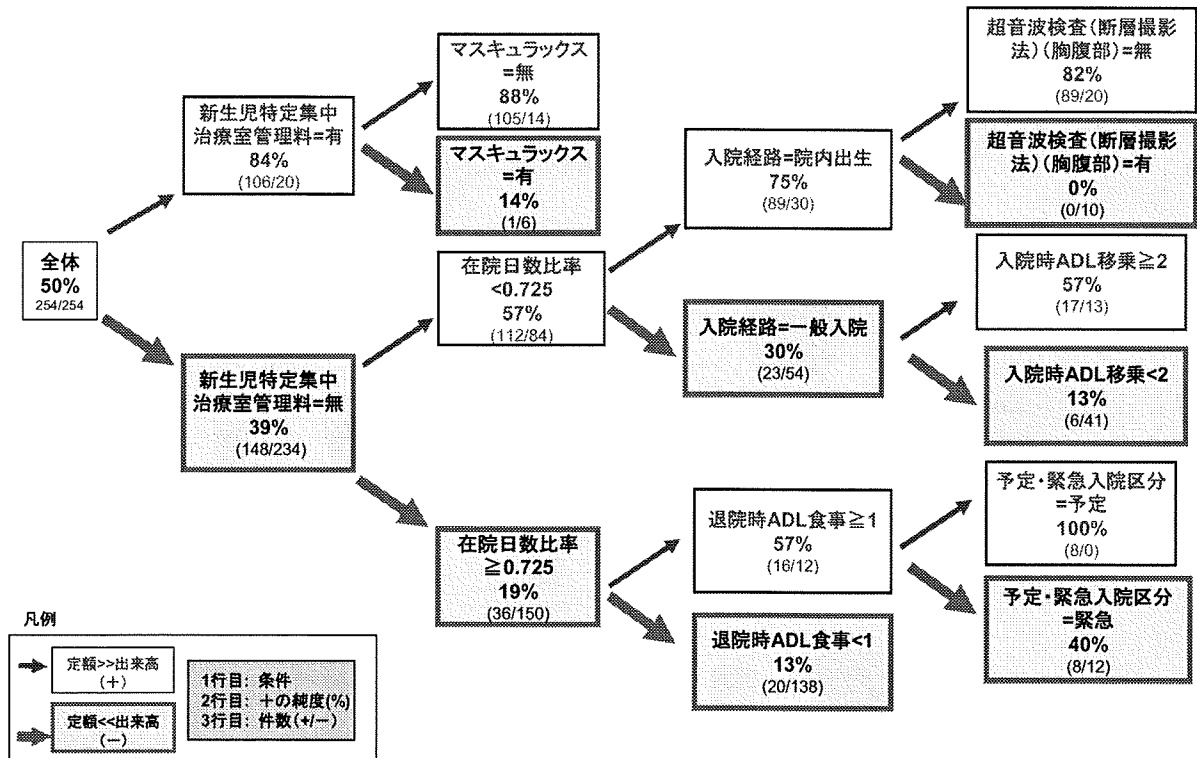
DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 出来高換算額/日 回帰木分析

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント	枝取り...
True	1	37901.14453125	775 (100%)	└
○ 9408_新生児特定集中治療室管理料_有無=無	1.1	29284.5527343...	619 (80%)	└
○ 4011_血漿交換療法の有無=有	1.1.1	68337.5	6 (1%)	└
○ 4011_血漿交換療法の有無≠有	1.1.2	28902.3046875	613 (78%)	└
○ 9106_肺サーファクタント_有無=無	1.1.2.1	28394.3144531	602 (78%)	└
○ 1024_救急車による搬送の有無=有	1.1.2.1.1	33628.5234375	32 (4%)	└
○ 1024_救急車による搬送の有無≠有	1.1.2.1.2	28100.46484375	570 (74%)	└
○ 9205_ピクシリン_有無=無	1.1.2.1.2.1	27724.7578125	607 (66%)	└
○ 9205_ピクシリン_有無≠無	1.1.2.1.2.2	31124.0058593...	63 (8%)	└
○ 9106_肺サーファクタント_有無≠無	1.1.2.2	56703.2734375	11 (1%)	└
○ 9408_新生児特定集中治療室管理料_有無≠無	1.2	72091.34375	156 (20%)	└
○ 9405_呼吸心拍監視(3時間超)(7日以内)_有無=有	1.2.1	64437.046875	64 (8%)	└
○ 1021_他院よりの紹介の有無=無	1.2.1.1	55523.80078125	27 (3%)	└
○ 1315_入院時併存疾病数 < 1.5	1.2.1.1.1	52257.0703125	20 (3%)	└
○ 1315_入院時併存疾病数 ≥ 1.5	1.2.1.1.2	64857.3125	7 (1%)	└
○ 1021_他院よりの紹介の有無≠無	1.2.1.2	70941.3046875	37 (5%)	└
○ 9405_呼吸心拍監視(3時間超)(7日以内)_有無≠有	1.2.2	77416.078125	92 (12%)	└
○ 9106_肺サーファクタント_有無=無	1.2.2.1	73829.2890625	78 (10%)	└
○ 1017_転科の有無=有	1.2.2.1.1	54052.55078125	8 (1%)	└
○ 1017_転科の有無≠有	1.2.2.1.2	76089.4921875	70 (9%)	└
○ 9106_肺サーファクタント_有無≠無	1.2.2.2	97399.59375	14 (2%)	└

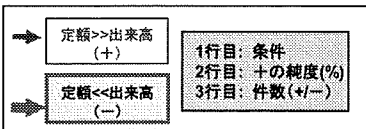
クラス・ラベル

27,724.758 34,692.241 41,659.725 48,627.209 55,594.692 62,562.176 69,529.659 76,497.143 83,464.627 90,432.11 97,399.594

DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

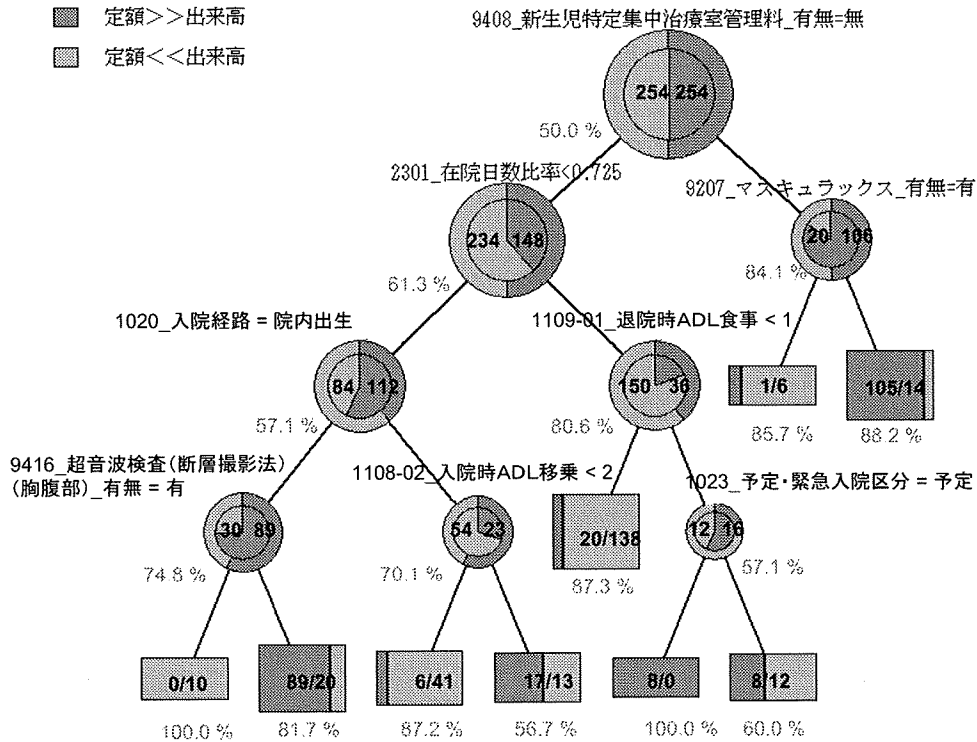
以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- ・マスキュラックス=有
- ・在院日数比率 ≥ 0.725
- ・退院時ADL食事 < 1 (*)
- ・超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)=有
- ・入院時ADL移乗 < 2 (*)

(*) ADL食事
0: 全介助
1: 一部介助
2: 自立
9: 不明

(*) ADL移乗
0: 全介助
1, 2: 一部介助
3: 自立
9: 不明

DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 定額 vs 出来高



DPC6=140030 周産期に発生した新生児の障害 定額 vs 出来高

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント...	純度	枝取り...
True	1	定額 >> 出来高	254 (100%)	50.0%	☐
9408_新生児特定集中治療室管理料_有無=無	1.1	定額 << 出来高	234 (75%)	61.3%	☐
2301_在院日数比率 < 0.725	1.1.1	定額 >> 出来高	119 (39%)	57.1%	☐
1020_入院経路 = 院内出生	1.1.1.1	定額 >> 出来高	119 (23%)	74.8%	☐
9416_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無=有	1.1.1.1.1	定額 << 出来高	10 (2%)	100.0%	☐
9416_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無≠有	1.1.1.1.2	定額 >> 出来高	109 (21%)	81.7%	☐
1020_入院経路 ≠ 院内出生	1.1.1.2	定額 << 出来高	77 (15%)	70.1%	☐
1108-02_入院時ADL移乗 < 2	1.1.1.2.1	定額 << 出来高	47 (9%)	87.2%	☐
1108-02_入院時ADL移乗 ≥ 2	1.1.1.2.2	定額 >> 出来高	30 (6%)	56.7%	☐
2301_在院日数比率 ≥ 0.725	1.1.2	定額 << 出来高	136 (37%)	80.6%	☐
1109-01_退院時ADL食事 < 1	1.1.2.1	定額 << 出来高	58 (31%)	87.3%	☐
1109-01_退院時ADL食事 ≥ 1	1.1.2.2	定額 >> 出来高	28 (6%)	57.1%	☐
1023_予定・緊急入院区分 = 予定	1.1.2.2.1	定額 >> 出来高	8 (2%)	100.0%	☐
1023_予定・緊急入院区分 ≠ 予定	1.1.2.2.2	定額 << 出来高	20 (4%)	60.0%	☐
9408_新生児特定集中治療室管理料_有無≠無	1.2	定額 >> 出来高	126 (25%)	84.1%	☐
9207_マスクセラックス_有無=有	1.2.1	定額 << 出来高	7 (1%)	85.7%	☐
9207_マスクセラックス_有無≠有	1.2.2	定額 >> 出来高	119 (23%)	88.2%	☐

クラス・ラベル



DPC6=150010 ウィルス性腸炎

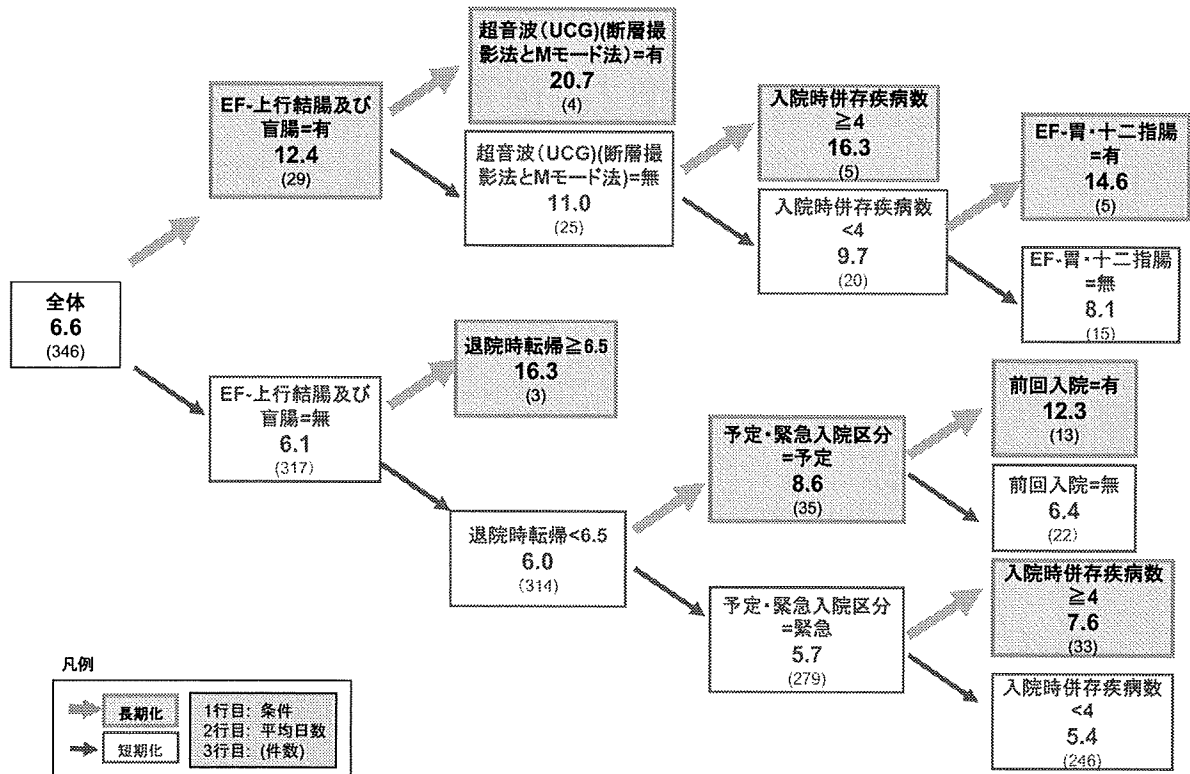
使用説明変数

9101_グルカゴン_有無
9102_その他_有無

9201_アミノフリード_有無
9202_セフメタゾン_有無
9203_ニフレック_有無
9204_フルマリン_有無
9205_ホスミシン_有無
9206_ホロサイル_有無

9401_EF一胃・十二指腸_有無
9402_EF一上行結腸及び盲腸_有無
9403_T一M(1臓器)_有無
9404_躯幹単純CT撮影_有無
9405_超音波(UCG)(断層撮影法とMモード法)_有無
9406_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 在院日数 回帰木分析



DPC6=150010 ウィルス性腸炎 在院日数 回帰木分析

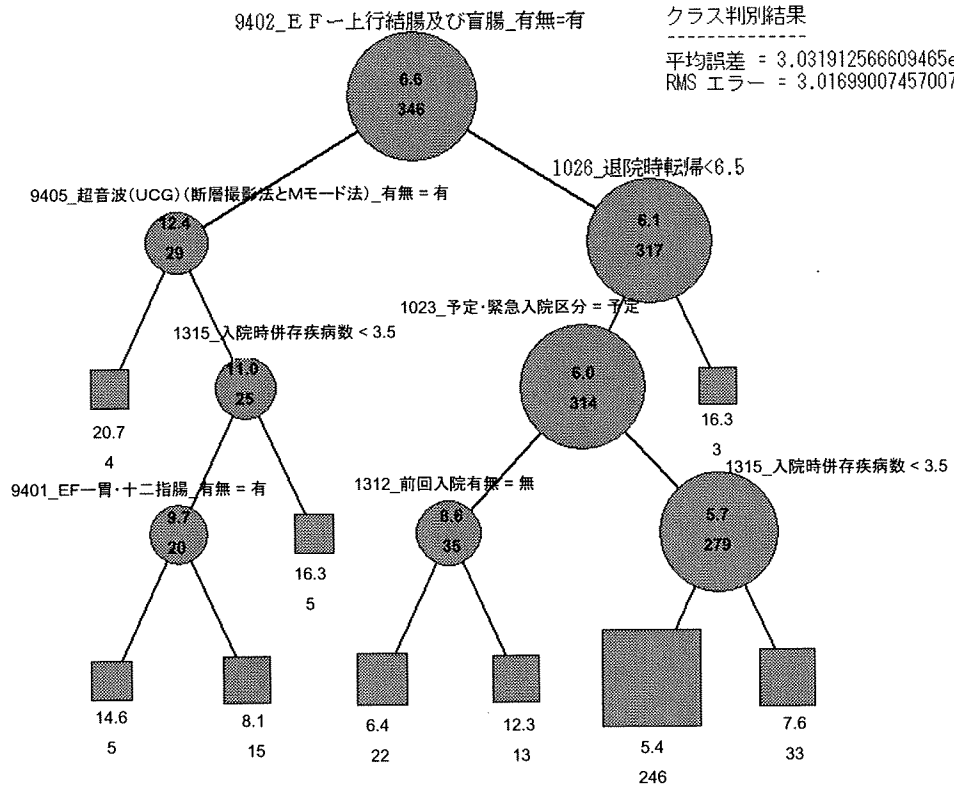
在院日数回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- EF-上行結腸及び盲腸=有
- 超音波(UCG)(断層撮影法とMモード法)=有
- 退院時転帰 ≥ 7 (*)
- 入院時併存疾病数 ≥ 4
- 予定・緊急入院区分=予定
- 前回入院=有

- (*) 退院時転帰
- 1: 治癒
 - 2: 軽快
 - 3: 寛解
 - 4: 不変
 - 5: 増悪
 - 6: 死亡
 - 7: その他死亡
 - 9: その他

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 在院日数 回帰木分析



クラス判別結果
 平均誤差 = 3.031912566609465e-08
 RMS エラー = 3.016990074570075

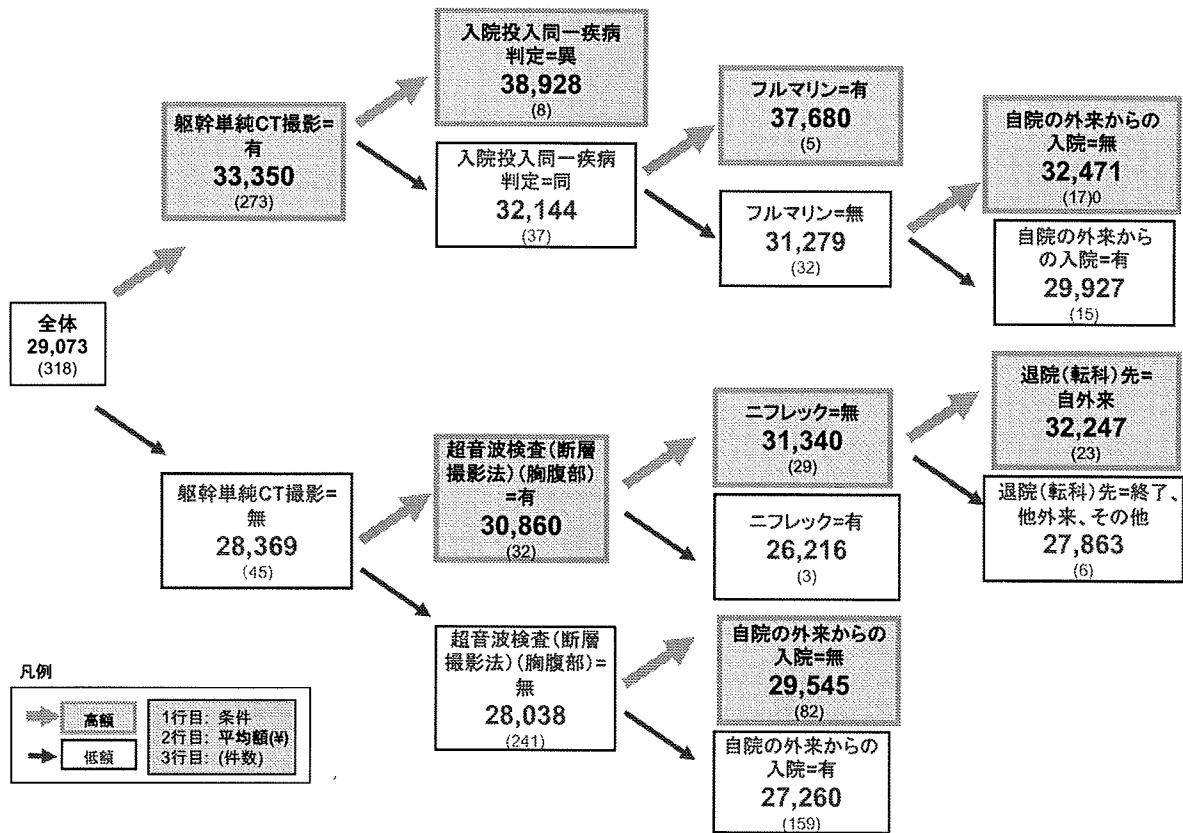
DPC6=150010 ウィルス性腸炎 在院日数 回帰木分析

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント	枝取り
◎ True	1	6.6763	346 (100%)	☐
☐ ◎ 9402_EF-上行結腸及び盲腸_有無=有	1.1	12.413...	29 (8%)	☐
○ 9405_超音波(UCG) (断層撮影法とMモード法)_有無=有	1.1.1	20.75	4 (1%)	☐
☐ ◎ 9405_超音波(UCG) (断層撮影法とMモード法)_有無≠有	1.1.2	11.079...	25 (7%)	☐
☐ ◎ 1315_入院時併存疾病数 < 3.5	1.1.2.1	9.75	20 (6%)	☐
○ 9401_EF-胃・十二指腸_有無=有	1.1.2.1.1	14.600...	5 (1%)	☐
○ 9401_EF-胃・十二指腸_有無≠有	1.1.2.1.2	8.1333	15 (4%)	☐
└ ○ 1315_入院時併存疾病数 ≥ 3.5	1.1.2.2	16.399...	5 (1%)	☐
☐ ◎ 9402_EF-上行結腸及び盲腸_有無≠有	1.2	6.1514...	317 (92%)	☐
☐ ◎ 1026_退院時転帰 < 6.5	1.2.1	6.0541...	314 (91%)	☐
☐ ◎ 1023_予定・緊急入院区分 = 予定	1.2.1.1	6.6571	35 (10%)	☐
☐ ◎ 1312_前回入院有無=無	1.2.1.1.1	6.4545...	22 (6%)	☐
○ 1312_前回入院有無≠無	1.2.1.1.2	12.384...	13 (4%)	☐
☐ ◎ 1023_予定・緊急入院区分 ≠ 予定	1.2.1.2	5.7275...	279 (81%)	☐
☐ ◎ 1315_入院時併存疾病数 < 3.5	1.2.1.2.1	5.4634...	246 (71%)	☐
☐ ◎ 1315_入院時併存疾病数 ≥ 3.5	1.2.1.2.2	7.6969...	33 (10%)	☐
○ 1026_退院時転帰 ≥ 6.5	1.2.2	16.333	3 (1%)	☐

クラスラベル

2.125 3.988 5.85 7.712 9.575 11.438 13.3 15.162 17.025 18.888 20.75

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 出来高換算額/日 回帰木分析



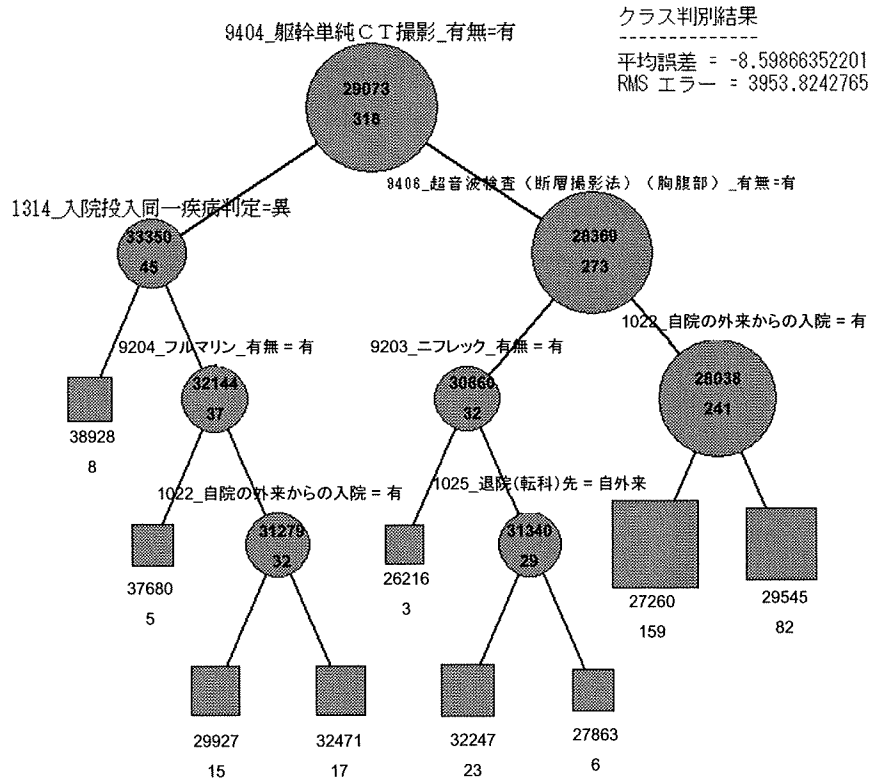
DPC6=150010 ウィルス性腸炎 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 躯幹単純CT撮影=有
- 入院投入同一疾病判定=異
- 超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)=有
- フルマリン=有
- ニフレック=無
- 自院の外来からの入院=無
- 退院(転科)先=自外来

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 出来高換算額/日 回帰木分析



クラス判別結果

 平均誤差 = -8.598663522012578e-05
 RMS エラー = 3953.824276582691

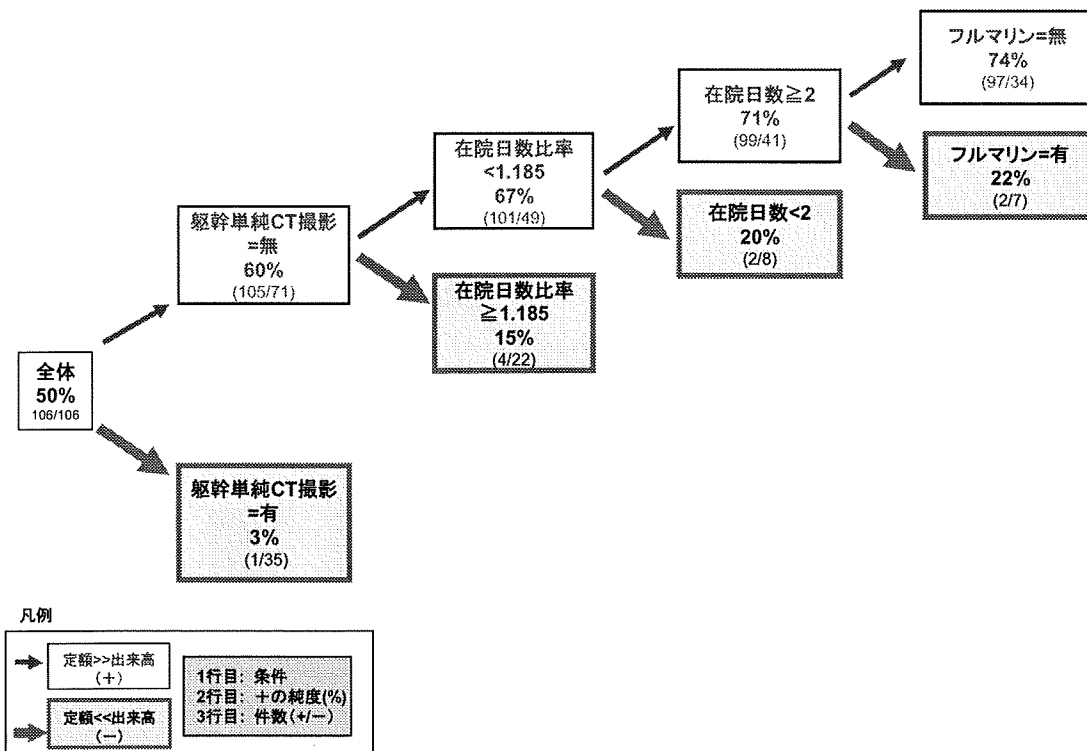
DPC6=150010 ウィルス性腸炎 出来高換算額/日 回帰木分析

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウント	枝取り...
○ True	1	29073.96...	318 (100%)	☐
☐ ○ 9404_腹部単純CT撮影_有無=有	1.1	33350.44...	45 (14%)	☐
○ 1314_入院投入同一疾病判定=異	1.1.1	38928.38...	8 (3%)	☐
☐ ○ 1314_入院投入同一疾病判定≠異	1.1.2	32144.40...	37 (12%)	☐
○ 9204_フルマリリン_有無=有	1.1.2.1	37680.66...	5 (2%)	☐
☐ ○ 9204_フルマリリン_有無≠有	1.1.2.2	31279.36...	32 (10%)	☐
○ 1022_自院の外來からの入院=有	1.1.2.2.1	29927.72...	15 (5%)	☐
○ 1022_自院の外來からの入院≠有	1.1.2.2.2	32471.99...	17 (5%)	☐
☐ ○ 9404_腹部単純CT撮影_有無≠有	1.2	28369.05...	273 (86%)	☐
☐ ○ 9406_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無=有	1.2.1	30869.22...	32 (10%)	☐
○ 9203_ニフレック_有無=有	1.2.1.1	26216.03...	3 (1%)	☐
☐ ○ 9203_ニフレック_有無≠有	1.2.1.2	31340.66...	29 (9%)	☐
○ 1025_退院(転科)先=自外来	1.2.1.2.1	32247.70...	23 (7%)	☐
○ 1025_退院(転科)先≠自外来	1.2.1.2.2	27863.65...	6 (2%)	☐
☐ ○ 9406_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無≠有	1.2.2	28038.27...	241 (76%)	☐
○ 1022_自院の外來からの入院=有	1.2.2.1	27260.875...	159 (50%)	☐
○ 1022_自院の外來からの入院≠有	1.2.2.2	29545.66...	82 (26%)	☐

クラス・ラベル

26,216.033	27,487.269	28,758.504	30,029.739	31,300.975	32,572.21	34,161.254	35,750.298	37,339.343	38,928.387
------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 定額 vs 出来高



DPC6=150010 ウィルス性腸炎 定額 vs 出来高

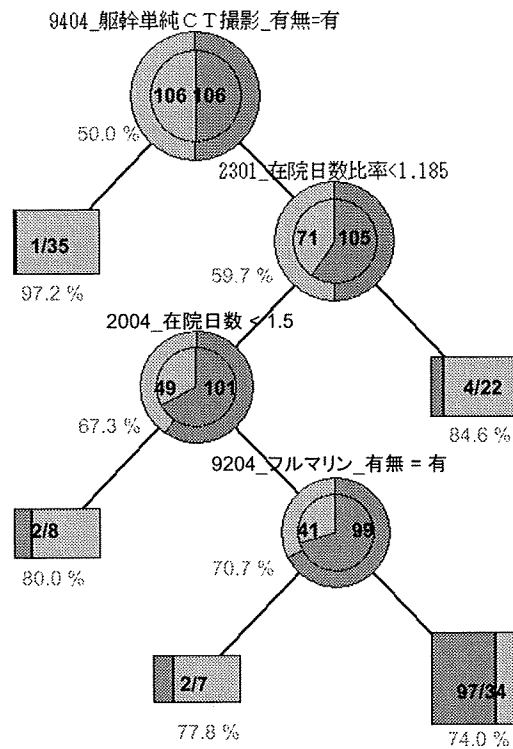
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 躯幹単純CT撮影=有
- 在院日数比率 ≥ 1.185
- 在院日数 < 2
- フルマリン=有

DPC6=150010 ウィルス性腸炎 定額 vs 出来高

定額>>出来高
 定額<<出来高



DPC6=150010 ウィルス性腸炎 定額 vs 出来高

ツリー	ノードID	スコア	レコード・カウン...	純度	枝取り...
True	1	定額>>出来高	212 (100%)	50.0%	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 9404_躯幹単純CT撮影_有無=有	1.1	定額<<出来高	36 (17%)	97.2%	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 9404_躯幹単純CT撮影_有無≠有	1.2	定額>>出来高	176 (83%)	59.7%	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2301_在院日数比率 < 1.185	1.2.1	定額>>出来高	150 (71%)	67.3%	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 2004_在院日数 ≤ 1.5	1.2.1.1	定額<<出来高	10 (5%)	80.0%	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2004_在院日数 ≥ 1.5	1.2.1.2	定額>>出来高	140 (66%)	70.7%	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 9204_フルマリン_有無=有	1.2.1.2.1	定額<<出来高	9 (4%)	77.8%	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 9204_フルマリン_有無≠有	1.2.1.2.2	定額>>出来高	131 (62%)	74.0%	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 2301_在院日数比率 ≥ 1.185	1.2.2	定額<<出来高	26 (12%)	84.6%	<input type="checkbox"/>

クラス・ラベル

定額>>出来高 定額<<出来高

DPC6=150070 川崎病

使用説明変数

- 9101_放射性医薬品(その他)_有無
- 9102_免疫グロブリンなどの血液製剤_有無

- 9201_イオメロン_有無
- 9202_プロスコープ_有無

- 9301_サーモダイリレーション用カテーテル(標準型)_有無
- 9302_血管造影用ガイドワイヤー(一般用)_有無
- 9303_血管造影用カテーテル(バルーン型(1))_有無
- 9304_血管造影用カテーテル(一般用)_有無
- 9305_血管造影用シースイントロデューサーセット(一般用)_有無
- 9306_動脈圧モニターカテ肺動脈用_有無

- 9401_シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影_有無
- 9402_心カテ(右心)_有無
- 9403_心カテ(左心)_有無
- 9404_超音波(UCG)(断層撮影法とMモード法)_有無
- 9405_超音波検査(断層撮影法)(胸腹部)_有無
- 9406_負荷心機能(トレッドミル)_有無